

## 「2022年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

総合生存学館博士後期課程4年 李文龍

この度は、京都大学アジア研究教育ユニットのおかげで、延世大学校スプリングスに参加することができました。この報告書では、主に以下の3つの内容について報告したいと思います。第一に、韓国語の勉強について、第二に韓国社会に対する理解、そして最後にこのプログラムが将来に与える影響についてです。

まず第一に、このプログラムを通じて、私は自分の韓国語のスキルアップだけでなく、効率的な韓国語の勉強方法も習得することができました。以前は独学で文法や文章の理解はできましたが、話すことができませんでした。しかし、このプログラムに参加したことで、3週間にわたる韓国語会話の授業を受けることができ、自分の韓国語能力が向上しました。また、集中的な授業を受けることで、勉強のスピードも速くなりました。この過程で、効率的な勉強方法も習得することができました。独学勉強の不利点を回避するために、特に文章の読み方や例文の作り方が重要だと感じました。

次に、このプログラムを通じて、韓国の事情を深く理解することができました。授業では、先生方が優しく、学生たちも素晴らしかったです。延世大学での日韓関係と韓半島の歴史の授業を通じて、韓国に関する様々な事情を学びました。特に、現地の韓国学生たちと交流し、韓国視点での色々なことを学ぶことができました。また、授業以外でも、韓国学生たちが共催したゼミナーを通じて、実際の韓国についての知識を深めることができました。私自身は、日本と韓国の院生教育について発表し、それを基に、私たちのグループでも日韓の院生教育について話し合いました。最後に、実際に韓国に行き、国立博物館、歴史博物館、民俗博物館などで韓国の社会文化について学ぶことができました。

最後、このプログラムは将来の就職に役立つと考えています。大学院修了後には、全世界的に横断的に関わりを持つ国際協力に関する仕事に従事し、国際社会に貢献したいと思っています。このプログラムでの韓国語の勉強と韓国社会に対する理解を生かして、国際協力などの仕事に特に有益だと考えています。また、このプログラムのおかげで、ソウルにある日中韓三国協力事務局の事業についても了解することができました。現在も就職活動中で、このような国際機関のインターンシップ機会を探しています。京都大学での勉強とこのプログラムの経験に基づいて、将来的に韓国も目的地の一つに考えています。

## 「英語講義の感想」

During the program, I had the opportunity to attend two English lectures: the special lecture on Japan-Korea relationships for Kyodai students, and the history of the empires of East Asia. This report will discuss the knowledge and insights gained from these two lectures.

The special lecture taught me the importance of distinguishing between facts and opinions. In our daily lives, we are inundated with information and opinions that seek to persuade us to believe or act in a certain way. It is crucial to recognize that we must use our own judgment and discernment to determine which information to trust. Moreover, through an in-depth exploration of Korean history from the 1940s to the 1960s, I gained a deeper understanding of the roots of the division of the Korean peninsula and its impact on the contemporary East Asian region. Additionally, by discussing the issues of comfort women and forced labor, which represent the core diplomatic concerns between Japan and South Korea, I furthered

my comprehension of the complex relationship between these two countries.

In the empire lecture, I was particularly struck by the importance of perspective. While many historical facts may be shared between China and Korea, the ways in which they are understood and interpreted can be vastly different. Through an exploration of ancient history in Japan and Korea, I also learned about the various debates and arguments surrounding vague or ambiguous historical events.

Overall, I found these lectures to be extremely helpful in developing a deeper understanding of different viewpoints and perspectives. This is particularly relevant for cross-cultural communication, where recognizing and appreciating different perspectives is essential.

「韓国でお世話になった人に向けて、韓国語で一言」

그동안 신세를 주셔서 감사합니다! 앞으로의 한국어 공부도 노력하겠습니다. 여러분의 향후 활약을 진심으로 기원 드립니다!